

令和3年度 第24回幼小中一貫教育研究会

【研究開発課題】

高度に競争的でグローバル化された多様性社会に適応するために求められる、3つの次元(躍動する感性・レジリエンス・横断的な知識)の基礎となる資質・能力を育成する幼小中一貫教育カリキュラムの研究開発(第3年次)

文部科学省 研究開発学校指定校

新領域「光輝(かがやき)」を中心とした幼小中一貫教育
多様性社会 の中で『**生きて働く力**』を育む
 —保育・各教科と領域の横断を中心として—



12年間で育成する「多様性社会の中で『生きて働く力』」

躍動する感性	レジリエンス	横断的な知識
<ul style="list-style-type: none"> ・人間味溢れる豊かな感覚 ・自ら学ぼうとする姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く取り組む力 ・コラボレーションする力 ・複眼的に思考する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識と知識を関連付けながら深く追究する力 ・論理的に問題を解決する力

日 程	8:45 ~	9:15 ~	9:20 ~ 9:40	9:50 ~ 10:50	11:00 ~ 12:10	昼休み (接続準備)	13:15 ~ 14:15	14:20 ~ 15:30	15:35 ~ 16:35	謝 辞
	接 続 開 始	学校園 長挨拶	基 調 提 案	光輝 分科会	保育・教科 分科会①		講 演 (1)	保育・教科 分科会②	講 演 (2)	

参加費 無料



令和3年 12月4日(土)

オンライン開催



広島大学

広島大学附属三原幼稚園・小学校・中学校

後援 広島県教育委員会・三原市教育委員会

研究保育・授業

分科会 (①午前、②午後)		保育・授業名	保育・授業者
保 育 ①	実践名	やってみるってたのしいね! (3歳児)	広兼 睦
	特徴	子ども達が心動かしながら、やってみたいと思うことを思いっきりやってみる楽しさが感じられるような保育をめざしています。	
	実践名	やってみたい! どうしたらできるかな...と考える子どもたち (4歳児)	大蔵 蓮
	特徴	友達の影響を受けながら、やってみたり考えたりして粘り強さを育てています。	
算数・数学 ①	テーマ	日常の事象を数理的に捉え直して考える —数値化して考えることに注目して— (2・8年)	竹田 有希 有田 雅美 西 宗一郎
	特徴	数値化して考えるよさを繰り返すことで、数学の時間のみならず、日常の事象や光輝の時間に、数値化して考えること(横断的な知識)ができる子どもを育成します。	
生 活 ①	テーマ	気付きの質を高める生活科授業 —気付きを伝え合う活動に着目して— (1年)	梅野 栄治
	特徴	子どもたちの思いや願いを踏まえ、必然性のある気付きを伝え合う活動を設定し、気付きの質を高めます。	
図画工作 ・ 美術 ①	テーマ	自ら創造することを楽しむ子ども —「対話」を大切に活動を通して— (6・9年)	丸子 英美 平光 昌輝
	特徴	様々な対象と対話のある活動を楽しみながら、自分なりの意味や価値を創造していきます。	
体 育・ 保健体育 ①	テーマ	スポーツの価値に迫る —複眼的にスポーツをみて— (5・9年)	住田哲太郎 富岡 宏健
	特徴	オリンピック・パラリンピック教育を通して、スポーツへの関りを複眼的に思考しながら、その価値に迫ります。	
社 会 ①、②	テーマ	「人、こと、もの」がにつながる社会科授業 (4・6・9年)	森 清成 村上 忠君 柳生 大輔
	特徴	「人、こと、もの」とのであいを大切にして、社会の見方を働かせながら、「変化」「つながり」「仕組み」について追究する姿をめざします。	
国 語 ②	テーマ	自ら学ぶ意欲を引き出す国語科授業 (5・8年)	坂田 豊 西村 尚久
	特徴	言葉の見方・考え方を働かせ、言葉の力を自覚し、汎用的に言葉を活用しようとする姿をめざします。	
理 科 ②	テーマ	理科で育む粘り強さ —複数の要素に着目して— (3・9年)	伊藤 正統 坪井 鷹二
	特徴	子どもが問題意識をもち、試行錯誤を重ねながら、事象について追究する姿をめざします。	
音 楽 ②	テーマ	自分なりの〈意味や価値〉を創造できる子ども —協働的な学習過程の保障を通して— (2・5・8年)	山本 千恵 岡崎 絵美 井上 翔太
	特徴	多様な価値観を認める柔軟さをもち、自ら問いに迫ろうとする姿を目指します。	
家 庭 ②	テーマ	生活を豊かにソーイング —課題解決過程に着目して— (6・9年)	松村 梨奈 藤井 志保
	特徴	布を用いた小物作りにおいて、「モデリング」「対話」を取り入れることで、子どもたちの課題解決能力の育成を目指します。	
外国語活動 ・ 英 語 ②	テーマ	主体的なコミュニケーションを目指して —「やり取り」に重点を置いた取組— (4・6・8・9年)	頼 望直 古賀悠里江 川崎とも子 神垣友紀子
	特徴	自己を見つめ、相手・他者を認める態度を育む「やり取り」とその発展的活動を追究します。	

指導助言

分科会	指導助言者		
光 の こ の 輝 き	幼小接続期	広島大学大学院人間社会科学研究科	渡邊 巧 先生
	転換期	広島大学大学院人間社会科学研究科	鈴木由美子 先生
	小中接続期	広島大学大学院人間社会科学研究科	山内 規嗣 先生
		広島大学大学院人間社会科学研究科	深谷 達史 先生
義務教育完成期	広島大学大学院人間社会科学研究科	児玉真樹子 先生	
保 育	広島大学大学院人間社会科学研究科 就実短期大学幼児教育学科	七木田 敦 先生 池田 明子 先生	
算 数・数 学	広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科	松浦 武人 先生 真野 祐輔 先生	
生 活	広島大学大学院人間社会科学研究科	渡邊 巧 先生	
図画工作 ・ 美術	広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科	中村 和世 先生 多田羅多起子先生	
体 育・ 保健体育	広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科	大後戸一樹 先生 岩田昌太郎 先生	
社 会	広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科	永田 忠道 先生 川口 広美 先生	
国 語	広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科	山元 隆春 先生 間瀬 茂夫 先生	
理 科	広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科	山崎 敬人 先生 木下 博義 先生	
音 楽	広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科	伊藤 真 先生 大野内 愛 先生	
家 庭	広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科	伊藤 圭子 先生 鈴木 明子 先生	
外国語活動 ・ 英 語	広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科 広島大学大学院人間社会科学研究科	檜葉みつ子 先生 松宮奈賀子 先生 岩坂 泰子 先生	

● 「光輝（かがやき）」実践の紹介 ●

幼小接続期（幼稚園・1年・2年）

子どもたちの興味から忍者ごっこが始まり、登り棒の術など、自分たちで修行の内容を考えながら園庭を巡っています。応援したり助けたりして友達と協力しながら目標に向けて諦めずに頑張る姿を大切にしています。（5歳児）

お世話になっている5年生のペアさんともっと仲良くなりたい思いから、1年生主催の交流会を行いました。実現に向けて協力して取り組むことを通して、これまでの経験や知識を生かしたり、試行錯誤し最後まで粘り強く取り組んだりする力を高めています。（1年）

これまでの経験や各教科の学習と結びついた様々な活動の中から、子どもたちがCMづくりに決め取り組む中で、相手のことを考える力や粘り強く何度も試行錯誤して取り組む力を高めています。（2年）

講師 広島大学大学院人間社会科学部准教授 渡邊 巧先生

転換期（3年・4年）

3年生「問題解決！プロジェクト」、4年生「スマイルプロジェクト」として、話し合っ決めて決めたプロジェクトについて、グループにわかれて互いに協力し合っ、課題の達成に向けて探究的な学習を展開しています。

3年生は、「地域を元気にする」という目標をもって、クリーン大作戦、マスコット大作戦、お祭り大作戦などの活動を行う中で、試行錯誤しながら、繰り返し取り組む力を育みます。

4年生は、「三原スマイルプロジェクト」をテーマにして、「三原の人を笑顔にする」という目標をもって、スマイルバザーを計画し、グループに分かれて地域の人を笑顔にするための活動を行います。その中で複眼的な思考を養います。

講師 広島大学大学院人間社会科学部准教授 鈴木 由美子先生

小中接続期（5年・6年・7年）

5年生は「輝け！GoGo文化祭」で、各教科での学びを関連させ、協働しながら活動していくことで、「団結力（レジリエンス）」、「計画力（横断的な知識）」、「応用力（躍動する感性）」を高めることをめざしました。

6年生は「芸術科～ミュージカルを創ろう～」で、ドラマ教育と各教科の学びを関連させ、仲間とコミュニケーションを図りながら、自己表現し、人間味あふれる豊かな感覚を高める実践を行っています。

7年生は、「スタート☆トレーニング」、「運動会」、「文化祭」の取組を通して互いに意見を出し合い、一人一人が長所を發揮することでコラボレーションする力を高めてきました。さらに、グループでの探究学習では「20年後の『三原』への提言」をテーマに、各教科で付けた力も生かしながら協働して活動しています。

講師 広島大学大学院人間社会科学部准教授 山内 規嗣 先生
講師 広島大学大学院人間社会科学部准教授 深谷 達史 先生

義務教育完成期（8年・9年）

8年「大志を抱け」9年「夢や希望を掴み取れ」というテーマを掲げ、各自で問いを設定する「個人探究学習」を2年間通して行います。本単元は、これまでの道徳、特別活動そして各教科の学びを、自ら活用して応用しながら、「躍動する感性・レジリエンス・横断的な知識」を高める集大成の単元です。課題設定時の充実と共に、取組の過程における仲間、そして先哲との対話を重視し、校内での学びを起点に、地域・社会へと視野を広げ、自発的に学んだことを活用し、誰かのために役に立つ問題提起や解決作を発表します。この探究活動を通して、本学園信条「人のために尽くして感謝する」の意味を考え、自分自身のこれからの生き方を考える学びとします。

講師 広島大学大学院人間社会科学部准教授 児玉 真樹子先生

● 講演会 ●

講演（1） 13:15～14:15

神戸大学 教授

北野 幸子 先生

【育ちと学びをつなぐ接続とは】



講演（2） 15:35～16:35

千葉大学 名誉教授

天笠 茂 先生

【学校の全教職員で取り組む

カリキュラム・マネジメントの在り方】



● 申し込みについて ●

①参加申込

- ・申込フォームよりお申し込みください。
- ・締切11/26(金)

②事前準備

- ・研究会専用HPをご覧ください、動画を事前にご覧ください。
- ・11/29(月)より専用HPにて公開します。

③研究会当日

- ・当日は、新領域「光輝（かがやき）」に関する協議会、保育教科に関する協議会がありますので、ご希望の協議会にご参加ください。

申込はこちら

研究会HPはこちら



パソコンからはこちらからも参加を受け付けています <https://www.ac-mihara.com/r3kenkyu>

これまでの研究開発の歩みを載せた冊子も発売中です。社会的自立の基礎となる資質・能力及び態度価値観を育成する取組について記載しております。ぜひご覧ください。

「幼小中一貫教育で育む資質・能力 一自ら伸びる子どもを育てる」(ぎょうせい)2000円+税



広島大学附属三原幼稚園・小学校・中学校

〒723-0004 広島県三原市館町2丁目6番1号

TEL 0848-62-4642 (幼) TEL 0848-62-4238 (小)

TEL 0848-62-4777 (中) FAX 0848-60-0121 (共)

詳細は本学校園 HP URL https://www.hiroshima-u.ac.jp/fu_mihara

広島大学附属三原 検索